令和2年度　国語科

学校番号	3018

教科	国語科	科目	国語総合（現代文）	単位数	6単位中の2	年次	1年
使用教科書	「国語総合 改訂版 現代文編」（大修館書店）						
副教材等	「トータルサポート新国語便覧」（大修館書店）　「大学入試に出た核心漢字2500＋語彙1000」（尚文出版） 「読解を深める 現代文単語 改訂版」（桐原書店）　「アップリフト現代文入試基本改訂版」（Z会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

◇現代文では、学力や入試に必要な実力を意識することだけにとどまらず、各自の今後の人生を切りひらくための「力」を身につけてほしいと願っています。
◇まずは、積極的・意欲的に授業にのぞみ、「トレーニング」を重ねる中で「力」を獲得していきましょう。
◇さまざまな文章・作品を読むことをとおして、読解力はもちろんのこと論理的な思考力、そして自身の考えや主張を表現する力を身につけましょう。
◇文章を読む中でふれる、あらゆる語句の意味・用法に関心をもち、理解し、自身の知識に加えることを心がけましょう。
◇難解な文章にも、嫌悪や忌避の意識を持つことなく、取り組んでいきましょう。
◇授業では、自身の学習に資するための「ノート(＝学習の記録となるもの)」を作成し活用しましょう。さまざまな「課題」にも主体的に取りくみ、実力をつけましょう。

2　学習の到達目標

◇論理的な文章においては、筆者の考えや主張を論理の流れにそって正確に読みとることができる。さらに、それをもとにして現代の社会などについて考察・思考することができる。また、自らについて思索することができる。
◇文学的な文章においては、その文体や語句などに注目しながら、作品の構成や人物の心情などを読みとることができる。さらに、作者の提示する主題についても深くとらえ、思索し、自身の生活や人生を見つめる機会とすることができる。
◇さまざまなジャンルの文章・作品を読むことをとおして、深く思索し考察することで得たものを、口頭での意見表明や文章作成などによって他者に正確に伝えることができる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a　関心・意欲・態度	b　話す・聞く能力	c　書く能力	d　読む能力	e　知識・理解
観点の趣旨	国語で伝えあう力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	意見や考えをまとめ、的確に表現できる。また、他人の意見を聴いて的確に理解し、それに対する意見をまとめたり、発言できる。	筆者が伝えようとすることを的確にまとめたり、自分の意見や感想を整理し、わかりやすい文章で表現できるようになる。	文章を的確に読み取り、部分ごとの意味内容や主旨あるいは登場人物の心理を把握できるようになる。	言語文化に対して興味と関心を持ち、様々な人々の多様な考え方や感じ方を想像することのできる柔軟性や感受性を育む。
主たる評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート・課題等）	・行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	・行動の観察及び分析 ・記述の点検 （ノート・課題等） ・定期テスト	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート・課題等） ・定期テスト	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート・課題等） ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評価にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	現代文導入	【近代以降】 教材： 「富士山のカタチ」 （池内 紀）	○		○	◎	○	a、文章の内容や論理展開を読み取ろうとしている。 c、内容説明や要約等の記述ができる。 d、文章の内容や論理展開を読み取っている。 e、評論を読むのに必要な用語の知識を持っている。	a：行動の観察 c:作業プリント d、e：提出物及び定期考査
	比較文化と近代小説	【近代以降】 教材： 「水の東西」 （山崎 正和） 「羅生門」 （芥川 龍之介）	○	○		◎	○	a、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っろうとしている。 b、自分の調べた内容や自分の意見を的確に表現している。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、小説の文体の特色と効果を理解している。	a：行動の観察 b：行動の観察 d、e：提出物及び定期考査
	言語とコミュニケーション	【近代以降】 教材： 「言葉についての新しい認識」 （池上 嘉彦） 「他者を理解するということ」 （鷲田 清一）	○		○	◎	○	a、文章の内容や論理展開を読み取ろうとしている。 c、内容説明や要約等の記述ができる。 d、文章の内容や論理展開を読み取っている。 e、評論を読むのに必要な用語の知識を持っている。	a：行動の観察 c:作業プリント d、e：提出物及び定期考査

	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期	グローバリズムとメディア社会	【近代以降】 「グローバル化とグローバリズム」 (平川 克美) 「消費されるスポーツ」 (多木 浩二)	○		○	◎	○	a、文章の内容や論理展開を読み取ろうとしている。 c、内容説明や要約等の記述ができる。 d、文章の内容や論理展開を読み取っている。 e、評論を読むのに必要な用語の知識を持っている。	a：行動の観察 c:作業プリント d、e：提出物及び定期考査
	小説を読む	【近代以降】 「良識派」 (阿部 公房) 「セメント樽の中の手紙」 (葉山 嘉樹)	○	○		◎	○	a、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取ろうとしている。 b、自分の調べた内容や自分の意見を的確に表現している。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、小説の文体の特色と効果を理解している。	a：行動の観察 b：行動の観察 d、e：提出物及び定期考査
	評論を読むⅣ	【近代以降】 「『知る』ことと『わかる』こと」 (中村 桂子) 「意味と身体」 (内田 樹) 「『美しさの発見』について」 (高階 秀爾)	○		○	◎	○	a、文章の内容や論理展開を読み取ろうとしている。 c、内容説明や要約等の記述ができる。 d、文章の内容や論理展開を読み取っている。 e、評論を読むのに必要な用語の知識を持っている。	a：行動の観察 c:作業プリント d、e：提出物及び定期考査

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c：書く能力
d:読む能力　e：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。